

なでしこ通信 第 46 号

《隔月発行》

— 目 次 —

- ★すべては「己」より始まる
日本青年会議所第 58 代会頭 安里 繁信
- ★第 5 回研修会のご案内
「パッテンライ！」上映会とトーク
- ★第 4 回研修会（5 月 12 日）から……
- ★拉致被害者を救出の愛媛 10 万人署名にご協力を！
- ☆事務局から

すべては「己」より始まる ■ □

日本青年会議所第 58 代会頭 安里繁信

（高橋史朗先生 対談集 「主体変容の教育改革」より）

◆スタート地点は「自分」◆

高橋： 「主体変容」という言葉があるんですが、自分が変わることがすべての出発点です。ところがマスコミを含めて最近の風潮は、自分以外の誰かに問題があって、それを変えなければならないという発想です。それでは何も変わらないと思うんです

安里： 教育しかり、政治しかり。すべてにおけるスタート地点は自分です。己をどう律するかを考え、己の足りなさに気付き、己の語ったことに責任を取る。そういう当たり前の連鎖を積み上げていくことが、今われわれに求められていることだと思っています。

「親がまず変わる」という視点は、経営においても言えます。中小企業の経営者から、「人が育たない」といった嘆きが聞こえてきます。でもそれは、トップに問題があるからなんです。

私の親父は武道家でもありましたから、肩書きでものを言うことをすごく嫌い、「男は裸で勝負しろ」といつも言っていました。「社長だからではなく、こいつについていきたいと思わせるような生き方をせよ」と。今、私の会社には従業員が約 1800 人いるのですが、労働組合もなく、労使問題での争いありません。

私は、社員と対話できる時間が 5 分しかないなら、その 5 分をいかに意味のあるものにするかを考えます。それこそ、握手の仕方や言葉の掛け方から、必死で。接する時間の問題ではないんです。

高橋： 親子の関係も同じですね。子どもと朝から晩まで一緒にいないと愛情が伝わらないかという、そうではありません。

安里： 家庭人として基本的なリズムで生活しているときの自分と、そうでないときの自分。人間にはさまざまな顔があります。これは、傍で見ている家族にも分かるはず。子どもの前では親としての自分を見せ、「おまえを愛している」という気持ちを伝えておりさえすれば、子どもはブレないはず。

◆拠って立つ場は家庭にある◆

安里： JC では今年、近現代史教育運動を活用した大人の育成というテーマも掲げ、近現代史の勉強にも力を入れています。自己を知るためには、自分の国の歴史を知ることが大切です。子どもたちに自分の国の歴史をきちんと語れるように教育し、倫理観や道徳観も教えていくためには、まず自分たちがしっかり学ぶことが必要ですね。

国益という正義がなければ、国民は家庭や会社を守ることができません。この国ではその観点があまりにも軽視されてはいないかと思うんです。今や、国はすべてを経済合理性で片づけるようになり、教育にさえ地域間格差が生まれています。いろんな意味で、地方の利益と国の利益が相反する時代です。そんな時代に、「おまえはどこに拠って立つんだ」と言われたら、私の場合はやっぱり家庭なんです。

◆誤った「子ども中心主義」が子どもをダメにする◆

高橋： 安里会頭はかつて沖縄県の教育委員を務めておられますね。

安里： はい。史上最年少の教育委員だったようです。ただ、4 年間籍を置いてみて、教育委員制度そのものの矛盾と限界をひしひしと感じ、一期で引かせてもらったんです。

実は、教育委員時代に女子高生のスカート丈をめぐるって、私の発言が波紋を呼び、ニュ

ースになったことがあるんです。ある県議から、女子高生のスカート丈の短さに問題があると声が上がり、当時の教育長が「個々人の個性を尊重し、自発的に校則にならって改めてもらえるよう促してまいります」という内容の答弁をしたのです。それに対して、私は嘸み付いた（笑）。

高橋： ほう、どのように嘸み付かれたのですか？

安里： 「子どもたちが規則を守れなくなっている深刻な現状を認識しないでどうするんだ。個性尊重と言っている場合ではない」と。ルールやモラル、エチケットやマナーを守ることが、いかに大切かを教えることが大人の責任なのに、それをやらずに「個性を尊重」などというのは怠慢なのです。その結果が、現在の子どものモラル低下に繋がっていることを大いに認識すべきです。

私の発言に対して、賛同やお礼の手紙が全国からたくさん寄せられる一方で、誹謗中傷や反論も多くありました。前者は保護者、後者は教職にある方々に多かったですね。この体験で、私は「この国も捨てたもんじゃない」と思うと同時に、教育現場に巣くっている課題を肌身で感じたものです。

教師が生徒に迎合するような風潮で、悪いことを悪いと叱らない。そこに大きな問題があります。私も少年のころは悪いことをさんざん行ってきた人間です。でも、その都度思い切り殴られた。殴られ、叱られるからこそ、「悪いことをした」という意識を持てたわけで、その意識があれば、改めることができると思うんです。でも叱られなかったら、子どもたちは何が正しくて何が間違っているのかという判断基準を失ってしまい、社会に出たときに善悪の観念を持つことができないのです。

高橋： 2008年8月から毎月、文部科学省は「子どもの徳育に関する懇談会」を開いていますが、その中で語られていた道德性の発達段階で興味深かったのは、「2歳の終わりに共感とか恥とか罪悪感とかが生まれ、善悪を獲得するのは3歳のはじめ」というものです。3歳までに親がどう関わるかが徳育の土台であるならば、学校の教師を責めている場合じゃないわけです。親が家庭でどう関わっているかを考えないと、徳育の土台はできないのではないかと思っています。こういう意味でも、親が育つということは、国づくりに絶対に欠かせないわけです。

あさと・しげのぶ 昭和44年生まれ。沖縄県出身。不動産業、物流サービス業、総合広告業、総合流通商社、映像・番組企画制作、マーケティングソリューションなど16社を束ねて事業を展開するシンバホールディング株式会社の代表取締役会長兼社長。史上最年少で沖縄県教育委員会委員も務める。平成21年1月より1年間、日本青年会議所第58代会頭に就任した。

第 5 回研修会のご案内

『パッテンライ！』上映会とトーク

■日時：7月21日（土）13:10～17:00（開場：13:00）★開会時間にご注意下さい★

■プログラム

1. 『天皇皇后両陛下 国際親善の旅—世界の人々と友好を深めて—』
2. 『パッテンライ！』 虫プロの制作したアニメ映画（2008年）
3. トーク～著作「台湾を愛した日本人～土木技師・八田與一」から
映画への経緯 古川勝三先生
4. 座談会

■会場：砥部町文化会館 3階 視聴覚室（P有）

■会費 1,000円 学生無料

【共催】 日華親善協会（会長 蔵原一郎先生）

あさ風会（代表 古川勝三先生）

第 4 回研修会(5月12日)から……

～教科書採択を振り返って～

今治市教育委員長、執筆者・現場教員、2つの民間団体の立場からのご提言がございました。育鵬社が採択された四国中央市の取り組みを話された高橋克好・日本会議四国中央支部長の活動をご紹介します。

前教育長は、現職のおり扶桑社版の採択がならず非常に残念な思いをされ、今回は是非育鵬社を採択したいという固い決意をされておられました。四国中央市は人口が9万数千人、中学校は小中一貫校を含め、7校あります。

日本会議四国中央支部は、是非子供達に日本人として誇りをもてる歴史教育を!と、前教育長と準備を進めました。

まず、一昨年「あらたまネットワーク」を立ち上げました。日本の歴史の中での輝かしい人物やことがらを子供達に勉強してもらおうと、一般の人たちの募金で書籍やDVDを送る活動です。

一年目は「海の武士道」のDVDを、各中学小学校の人数に応じて、計60部贈りました。昨年は日本とトルコの友好関係が結ばれるきっかけになったエルトゥールル号の物語のDVDを贈りました。

1 回の費用は 10 万円くらいですから篤志家からポンと出していただいたら済むのですが、むしろ多くの人の寄付をいただいてしようと 1 口 200 円に設定しました。一昨年は 300 名の方から 16 万円の浄財が集まりました。

こうした活動から教科書の運動に入りました。昨年の早い時期から前教育長や校長退職者らに協力していただき、教え子、知り合いで共鳴してくれる先生方にお声をかけ、大津寄先生に数回、勉強会をしていただきました。現場からは確かな手応えを感じました。5 月には市販本ができましたから 50 冊使って勉強会をしました。それには現教育長、市長も参加してくださいました。現教育長が絶対やるとハラをくくっておられました。

四国中央支部はバックアップにつとめました。署名活動では 1500 筆を教育長に持って参りました。教育長はこれだけの市民の声は大事にしますとおっしゃって下さいました。6 月にはまほろばの副理事長・山崎先生、7 月には高橋史朗先生による教育講演会を開催、教科書について話していただきました。さらに、地元の現場の社会科の先生達には手紙を送りました。教育長には約 200 通が届いたそうですが、なかでも 83 歳の女性の達筆の文章が素晴らしく教育長は非常に感動したとのことでした。現場の先生や教育委員にも相当数の手紙が行ったのではないのでしょうか。

8 月に採択の教育委員会が開かれました。先回のような反対派の行動に対処するために万全の体制がとられました。柔道やラグビーを経験している屈強な職員を会場の回りに配置する一方、教育長も教育委員も採択が終わったらすぐに会場を離れるように手筈が整っておりまして。

反対派は 14, 5 名しか来ておらず、極めて大人しく声もあげられず、全員一致で採択されました。その後も反対派の動きはなく一安心しました。

しかし先日の役員会で、7 校で育鵬社が採択されても問題集を育鵬社のを使ったのは 1 校だけと聞きまして、やはり、よかったよかっただけで終わらすわけにはいかない、これからも支部としてどういう形で教えられているか見ていかなければならないと思いました。

前教育長は、前々回に扶桑社に決めた大田原市にも行かれ、子供達の学習レベルや意欲が上がっている事実を確認されています。こういう立派な教育者を応援をしていきたいと思っております。

拉致被害者を救出の愛媛 10 万人署名にご協力を！

先号でみなさまのご協力をお願い致しましたところ、すでに 17 名の方々から 400 筆余りの署名が届いております。めざす会の締切は 7 月 25 日（水）でございます。

救う会愛媛のご好意によりまして署名数がトップ5名の方には、めざす会研修会で上映したDVD「拉致～私たちは何故、気付かなかったのか!」をプレゼント致します。

なお、拉致議連の県議の先生方のご尽力により、上記DVDが県下の中学・高校で使用されることになりました。秋には学校での上映報告が聞かれるそうです。

◇◇◇ 事務局から ◇◇◇

◆7月13日(金)の親学講演会「親学の最新動向～親の学びが子供を変える～」の参加促進にご協力下さいませ。大阪市の家庭教育支援条例案をめぐる騒動では、親のあり方は子供の成長に関係ないと思っているのだろうかと思われるようなものさえあります。私たちにできること＝講演会を大成功させることです。ご縁のある方をご案内いただきたく、ちらしを多い目に同封しております。TOSS 愛媛や愛媛県幼稚園連合会(公立と私立の両方の会)からも後援いただいております。また「ドコママ」のHPでも紹介して下さっております。

◆先回ちらしを同封しました7月14日(土)の親学基礎講座の参加者募集中です。

★めざす会の事務局の住所が変わりました!!!

◆毎週月曜日にランチ学習会をしております。お気軽にご参加下さい。時間や会場は下記までお問い合わせくださいませ。

◆年会費(1000円)の切れる方に払込取扱票を同封しております。会員1000名をめざしており現在795名でございます。よろしくお願い申し上げます。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井 美智子

〒790-0932 松山市東石井 7-1-24 (越智方)

ホームページ <http://www.mezasukai.com/> 電話 090-8971-7721 FAX 089-964-3903

メール michikoaoi25@yahoo.co.jp (件名を明記してください)